

教育子ども委員会 説明資料

令和4年3月14日

子ども青少年局

目 次

	頁
1 区・学区子ども会育成者組織数及び地域子ども会数	1
2 地域子ども会数の推移	2
3 子ども会活動振興策の方向性に係る想定スケジュール	3
4 公立保育所における標準的な保育室の面積及び児童数並びに換気方法	4
5 保育士等処遇改善臨時特例事業の概要	5
6 保育士等職種別の平均年収比較	5
7 里親登録数及びファミリーホーム数、委託児童数並びに里親等委託率の推移	6
8 児童相談に係る職員体制及び今後の目標	7
9 地域療育センターにおける初診待機期間の推移及び短縮に向けての課題	8
10 北部地域療育センターの社会福祉法人への移管に係る保護者説明の状況及び今後の予定	9
11 公立保育所におけるブロック塀等の撤去の状況	10
12 公立保育所のリニューアル改修の考え方等	11

1 区・学区子ども会育成者組織数及び地域子ども会数

(単位：団体)

区 分	区子ども会 育成者組織数	学区子ども会 育成者組織数	地域子ども会数	(参 考) 町 内 会 数
千 種	1	5	89	397
東	1	5	77	177
北	1	7	115	393
西	1	16	143	447
中 村	1	16	189	318
中	1	4	50	304
昭 和	1	11	149	250
瑞 穂	1	3	92	249
熱 田	1	7	85	149
中 川	1	11	122	464
港	1	17	102	297
南	1	13	184	345
守 山	1	7	39	382
緑	1	8	103	538
名 東	1	15	117	289
天 白	1	7	65	302
計	16	152	1,721	5,301

注1：「区子ども会育成者組織数」、「学区子ども会育成者組織数」及び「地域子ども会数」は、令和4年1月末現在の助成金の交付決定団体数

注2：「町内会数」は、令和2年4月1日現在の推計値

2 地域子ども会数の推移

区 分	地 域 子 ど も 会 数	対 前 年 度 増 減 率
	団体	%
平 成 2 4 年 度	2, 3 8 2	△ 3. 4
平 成 2 5 年 度	2, 3 1 4	△ 2. 9
平 成 2 6 年 度	2, 2 5 8	△ 2. 4
平 成 2 7 年 度	2, 1 9 2	△ 2. 9
平 成 2 8 年 度	2, 1 3 0	△ 2. 8
平 成 2 9 年 度	2, 0 2 6	△ 4. 9
平 成 3 0 年 度	2, 0 1 3	△ 0. 6
令 和 元 年 度	1, 9 1 6	△ 4. 8
令 和 2 年 度	1, 8 1 3	△ 5. 4
令 和 3 年 度	1, 7 2 1	△ 5. 1

注1：各年度3月末現在、ただし、令和3年度は令和4年1月末現在

注2：「地域子ども会数」は、助成金の交付決定団体数

3 子ども会活動振興策の方向性に係る想定スケジュール

区 分	内 容
4 年 度	○子ども会活動振興策の方向性策定に向けた調査を、学識者による監修のもとで実施 (主な内容) ・全学区を対象とした、子ども会と地域団体の関わり等についてのアンケート調査 ・特徴的な子ども会及び当該子ども会と関わりが深い地域団体へのヒアリング ・助成金の申請書類等による子ども会活動情報等の詳細な分析
5 年 度	○令和4年度の調査結果等を踏まえ、子ども会の振興のための支援策や、子ども会役員の負担軽減につながる取り組み等をテーマに学識者との共同研究を行い、本市における今後の子ども会活動振興策の方向性を策定
6 以 年 度 降	○策定した方向性に基づき、具体策を検討・展開

4 公立保育所における標準的な保育室の面積及び児童数並びに換気方法

(1) 標準的な保育室の面積及び児童数

区 分	面 積 (A)	児 童 数 (B)	1人あたり面積 (A/B)
	m ²	人	m ²
0・1歳児室	59.90	8	7.49
2歳児室	39.22	12	3.27
3歳児室	43.29	20	2.16
4歳児室	50.17	25	2.01
5歳児室	50.18	25	2.01

注：定員90人の保育所を想定

(2) 新型コロナウイルス感染症対策としての換気方法

2方向の窓を開け、気候上可能な限り常時、困難な場合はこまめに（1時間に2回程度、数分間程度、窓を全開にする）行う

注：「保育所等における新型コロナウイルスへの対応にかかるQ&Aについて（第十三報）」（令和4年2月15日付け厚生労働省子ども家庭局保育課事務連絡）から抜粋

5 保育士等処遇改善臨時特例事業の概要

新型コロナウイルス感染症への対応と少子高齢化への対応が重なる最前線において働く、保育士、幼稚園教諭、保育教諭等の処遇の改善のため、賃上げ効果が継続される取組を行うことを前提として、令和4年2月から収入を3%程度（月額9,000円）引き上げるもの

6 保育士等職種別の平均年収比較

(1) 全国

区 分	平 均 年 収
全 産 業	約 4 2 2 万円
保 育 士	約 3 6 4 万円
幼 稚 園 教 諭	約 3 5 8 万円
介 護 職 員	約 3 5 2 万円
看 護 師	約 4 7 3 万円

注1：厚生労働省「令和2年賃金構造基本統計調査」を基に作成

注2：役職者を除く

(2) 名古屋市職員

区 分	平 均 年 収
行 政 職	約 5 4 0 万円
保 育 士	約 5 2 8 万円
幼 稚 園 教 諭	約 5 4 8 万円

注1：令和3年4月1日現在の給料、地域手当及び期末・勤勉手当の合計額

注2：役職者を除く

7 里親登録数及びファミリーホーム数、委託児童数並びに里親等委託率の推移

(1) 里親登録数及びファミリーホーム数

区 分	2 年 度	3 年 度
里 親 登 録 数	2 3 2 世帯	2 4 5 世帯
フ ァ ミ リ ー ホ ー ム 数	6 か所	8 か所

注：令和2年度は3月末現在、令和3年度は令和4年1月1日現在

(2) 委託児童数

(単位：人)

区 分	2 年 度	3 年 度
里 親	9 5	1 0 0
フ ァ ミ リ ー ホ ー ム	2 3	2 8

注：令和2年度は3月末現在、令和3年度は令和4年1月1日現在

(3) 里親等委託率

(単位：%)

区 分	2 年 度	3 年 度
里 親 等 委 託 率	1 6 . 2	1 6 . 3
年 齢 階 層 別	3 歳 未 満	2 9 . 9
	3 歳 以 上 の 就 学 前	1 8 . 6
	学 齢 期 以 降	1 3 . 6
		1 3 . 9

注1：令和2年度は3月末現在、令和3年度は令和4年1月1日現在

注2：里親等委託率

$$= \frac{\text{里親・ファミリーホーム委託児童数}}{\text{乳児院・児童養護施設入所児童数} + \text{里親・ファミリーホーム委託児童数}}$$

8 児童相談に係る職員体制及び今後の目標

(1) 配置人員

(単位：人)

区 分	3 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度	7 年 度	8 年 度
児 童 福 祉 司	1 1 6	1 2 3	1 3 0	1 3 7	1 4 5	1 4 5
児 童 心 理 司	2 8	3 5	4 2	4 8	5 4	6 0
医療連携 支 援 コーディ ネーター	1	3	3	3	3	3
児童虐待 対 応 支 援 員	3 9	4 6	4 9	4 9	4 9	4 9

注 1：児童福祉司の人数は、区役所・支所に配置する児童福祉司 22 人を含む

注 2：児童虐待対応支援員は、区役所・支所に配置

(2) 人件費（概算）

(単位：百万円)

区 分	3 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度	7 年 度	8 年 度
人 件 費	1, 3 9 4	1, 5 3 8	1, 6 6 9	1, 7 8 0	1, 8 9 8	1, 9 4 9

注：1人当たりの予算額をそれぞれの人数に乗じて算出

9 地域療育センターにおける初診待機期間の推移及び短縮に向けての課題

(1) 初診待機期間の推移

(各年度10月1日現在)

区 分	2 年 度	3 年 度
中 央 療 育 セ ン タ ー	約 3 か 月	約 3 か 月
西 部 地 域 療 育 セ ン タ ー	約 2 か 月 半	約 3 か 月
北 部 地 域 療 育 セ ン タ ー	約 3 か 月	約 3 か 月
南 部 地 域 療 育 セ ン タ ー	約 1 か 月	約 2 か 月
そ よ 風		
東 部 地 域 療 育 セ ン タ ー	約 3 か 月	約 3 か 月
ぼ け つ と		

(2) 初診待機期間短縮に向けての課題

- ・ 増加する初診ニーズに対応するための医師等の確保が困難
- ・ 発達障害の診断が可能な医療機関の不足
- ・ 初診までの間の保護者の不安感及び子どもの早期発達支援

10 北部地域療育センターの社会福祉法人への移管に係る保護者説明の状況及び今後の予定

区 分	保 護 者 説 明	移管スケジュール
平成29年度	第1回保護者説明会 ・移管の概要についての説明	移管公表
平成30年度	第2～4回保護者説明会 ・移管の概要についての説明	
令和元年度	第5～6回保護者説明会 ・移管の概要についての説明	
令和2年度	第7～9回保護者説明会 ・移管の概要についての説明 ・保護者意見の集約について 第10～11回保護者説明会 ・保護者意見の集約について ・公募要項（骨子）の説明 保護者アンケートの実施	
令和3年度	第12～13回保護者説明会 ・保護者アンケートの結果について ・公募要項（案）の説明 第14～15回保護者説明会 ・選定結果等の説明	法人の公募・選定
令和4年度	移行協議会 ・引継ぎ共同療育の確認 ・新施設の名称、持ち物・費用負担、 行事の検討 等	引継ぎ共同療育
令和5年度	・移管後の運営状況の確認 等	移管

注1：上記の他に、保護者代表・北部地域療育センター・子ども福祉課で構成する準備会を開催

注2：移行協議会は、保護者代表・移管先法人・北部地域療育センター・子ども福祉課で構成

1 1 公立保育所におけるブロック塀等の撤去の状況

(単位：か所)

区 分	工事実施年度	施 設 数	うち鉄筋コンクリート組立塀のある施設数
建築基準不適合で道路に面している	平成30年度	4	1
建築基準不適合で道路に面していない	令和元年度	7	1
建築基準適合		11	3
計		22	5

1 2 公立保育所のリニューアル改修の考え方等

(1) 改修順位の基本的な考え方

- ア 築40年を経過する施設について、構造体耐久性調査を実施する。
- イ 構造体耐久性調査の結果、今後期待できる使用期間が20年程度以上の施設は調査後10年以内の改修を、40年程度以上の施設は調査後20年以内の改修を目安とする。
- ウ 目安となる改修時期が早い順に改修を行う。
- エ 目安となる改修時期が同じ場合は、築年数が古い順に改修を行う。

(2) 構造体耐久性調査の結果

区 分	施設数	調 査 年 度	保 育 所 名
40年程度以上	21か所	平成22年度	内山
		平成26年度	東山、直来、守山、瀬古、大高、 黒石、平針原、一本松
		平成30年度	春里、宮西、本地第一、森の里
		令和元年度	西味鉦、比良西、烏森、荒輪井、 安田、軍水、牧野池、山根
20年程度以上	23か所	平成26年度	宮根、東、野南、中、十番、 南陽第一、南陽第三、 宝神、大森、中志段味、 猪子石第二、亀の井、 島田第一
		平成30年度	上飯田南、新開、丸池、はざま
		令和元年度	森田、大池、中島、当知、本星崎、 よもぎ

(3) 築年数別施設数

(単位：か所)

区 分	施設数	保 育 所 名
築56年	1	内山
築51年	3	十番、南陽第三、大森
築50年	3	南陽第一、中志段味、猪子石第二
築49年	4	中、守山、本地第一、平針原
築47年	9	東山、宮根、東、野南、直来、九番、瀬古、大高、島田第一
築46年	6	尾上、宝神、はざま、黒石、亀の井、一本松
築45年	5	上飯田南、安田、軍水、豊成、山根
築44年	7	西味鉢、森田、烏森、大池、中島、よもぎ、上ノ池
築43年	5	都、砂田橋、比良西、当知、本星崎
築42年	7	春里、水草、荒輪井、新開、宮西、森の里、牧野池
築41年	4	大野、富田第一、丸池、旭出
築40年	2	神宮東、のりくら
築39年	5	藤の宮、白金、高蔵、宝、藤里
築38年	3	上名古屋、平池、東丘
築37年	1	鳴子
築36年	1	富田第二
築35年	2	北、五条
築34年	1	小幡
築33年	1	猪子石第一
築32年	1	神松
築29年	1	猪高
築28年	1	星ヶ丘
築24年	1	片平
築21年	1	港西
築 4年	2	正色、港
築 3年	1	如意

注：令和3年度末現在

(4) 年度別リニューアル改修等工事予定

区 分	保 育 所 名			
4 年 度	本 地			
5 年 度	十 番	南 陽 第 一	南 陽 第 三	大 森
6 年 度	宮 根	中	中 志 段 味	猪 子 石 第 二
7 年 度	東	野 南	宝 神	島 田 第 一
8 年 度	新 開	丸 池	は ざ ま	亀 の 井
9 年 度	森 田	大 池	中 島	
1 0 年 度	当 知	本 星 崎	よ も ぎ	
1 1 年 度	内 山	東 山	守 山	平 針 原
1 2 年 度	直 来	瀬 古	大 高	黒 石
1 3 年 度	春 里	宮 西	森 の 里	一 本 松
1 4 年 度	西 味 鉢	安 田	軍 水	山 根
1 5 年 度	比 良 西	烏 森	荒 輪 井	牧 野 池
1 6 年 度	尾 上	豊 成	九 番	上 ノ 池
1 7 年 度	都	砂 田 橋	水 草	大 野
1 8 年 度	神 宮 東	富 田 第 一	旭 出	の り く ら
1 9 年 度	藤 の 宮	白 金	高 蔵	宝
2 0 年 度	上 名 古 屋	平 池	東 丘	藤 里
2 1 年 度	北	富 田 第 二	五 条	鳴 子
2 2 年 度	神 松	小 幡	猪 高	猪 子 石 第 一
2 3 年 度	星 ケ 丘	上 飯 田	港 西	片 平
2 4 年 度	如 意	正 色	港	

